

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肝内胆管癌に対するリンパ節郭清範囲の標準化：完全郭清 vs サンプルング
	研究目的	<p>【背景】 肝内胆管癌(IH-CCC)は比較的稀な悪性腫瘍であるが、原発性肝癌としては肝細胞癌(HCC)に次ぐものである。原発性肝癌の 5-30%を占めると言われる。外科切除のみが唯一の根治的治療である。肝切除技術の向上や術後死亡率の低下にも関わらず、5年生存率は15-40%に過ぎない。疾患の少なさと切除率の低さから、IH-CCCの予後と臨床病理学的因子についての報告は少ない。さらに、IH-CCCに対する最適な治療戦略は未だに定まてはいない。また、リンパ節転移はIH-CCCの予後不良因子として知られている。しかしながら、多くの施設で定型的なリンパ節郭清は、多くの治療期間において、ルーチンで行われているわけではなく、IH-CCCの至適治療にリンパ節郭清が必要かどうかについても定まった見解はない。</p> <p>【目的】 多くの研究は単施設の限定されたデータであり、IH-CCCに対する定型的なリンパ節郭清の意義を評価するに値しないものである。 IH-CCCの治療におけるリンパ節郭清の腫瘍学的効果を評価する IH-CCC治療における定型的リンパ節郭清の意見の統一を図る 将来的なランダム化試験への強力な足がかりを生み出す</p>
	研究期間	2015年12月17日から2020年8月30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	森永聡一郎
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし